

わが子の教育

Vol.
13
2013
Gakken

ベストな選択を可能にする学校情報マガジン

中学情報編

FREE

育メン芸人
インタビュー

ガレッジセール 川田広樹さん

「子どもは僕に幸せを与えてくれる。
だから、少しでも長く一緒にいたい」

学ぼう! 子育て教室

① 思春期の親の心がまえ

花まる学習会代表 高濱正伸先生

② 勉強がよくできる「かんたん」照明術

灯りナビゲーター 結城未来先生

私学は我が街のランドマーク
応援したい子どもたち
本物の国際派私学を求めて

思春期の

親の心がまえ

子どもを「メシが食える大人」に育てる

子育ての目標とは何でしょうか？ それはわが子を経済的・社会的・精神的に自立した大人にすることです。そのために、思春期の子どもを持つ親がすべきことは？

教えてくれた人



花まる学習会 代表 高濱正伸先生
東京大学・同大学院修士課程修了。1993年、「作文」「読書」「思考力」「野外体験」を重視した学習教室「花まる学習会」を設立。「わが子を「メシが食える大人」に育てる」(廣済堂出版)など著書多数。

自立した大人になるための力

新聞やテレビのニュースでは、毎日のようにいわれる「引きこもり」や「ニート」の問題が取り上げられます。会社に就職しても、数か月で辞めてしまう若者も増えていっています。これらは、子育てをしている親御さんにとってとくに關心の高い話題といえるでしょう。もちろん、こういった問題にはさまざまな要因があるでしょうが、高濱先生によれば、社会で生きる力に乏しい大人になってしまいうちは、子ども時代に表れるそうです。

「たとえば、算数の文章題を解く時、最初は考える様子を見せても、すぐに「これ足し算でやるの？」それともかけ算」などと聞いてくる子がいます。一度ダメだと思つて、そこであきらめてしまい、自分の力で考えようとする習慣がついていないのです」



「メシが食える」ために身につけたい力

子ども時代の能力が社会に出てからどのように活かせるのかを説明します。

- 1 自分で考える力**
勉強や日常生活の中で、自分なりに考え、判断する力。身につけた知識や技能を活用する力。物事を筋道立てて考えられる力。
- 2 ことばの力**
他人の言っていることや文章の内容を的確に理解しポイントをつかむ力。自分の考えを正確にわかりやすく表現し相手に伝える力。
- 3 思い浮かべる力**
具体的な物や事象だけでなく、人の心などの抽象的な物もイメージできる力。細部だけでなく全体を俯瞰し見渡すことができる感性。
- 4 試そうとする力**
興味・関心のあること、おもしろいことなどに挑戦する力。与えられた課題を解決するためにさまざまな方法を試そうとする意欲。
- 5 やり抜く力**
一度始めたら、多少の困難があっても最後までやり抜く力。物事に集中して取り組む。コツコツと地道に続けていける力。

子ども自身より親の心がまえが大切

それでは、親としてどのような心がまえを持てばいいのか。ここでは小学校高学年以降の思春期の子を持つ親を対象に説明します。「私が言わないと、いつまでたってもやらないですよ」と言つて、わが子から離れられないお母さんがよくいます。これが子どもの成長を阻害する原因となります」

「かといって、夫が悪いわけではありませぬ。あくまで『時代的なものだ』と認識することが大切です。お父さんができることとして、お母さんにねぎらいの言葉をかけてあげましょう。女性は自分の言葉を受け止めてもらうだけで、ホッとします」

思春期の子どもとの接しかた

ここでは、思春期(小学校中学年以降)の子どもならではの特徴と、親の対応のしかたをまとめてみました。

1 見守る

子どもは体だけでなく、聴く音楽、読む本、友だちなど、さまざまなものが変わります。だから、親も気持ちを切り替えることが大切。「私が言わなければいつまでたってもやらない」と思つても、決して口出ししないこと。

●男の子

お父さんが男の本音を話しましょう。「今日はこんなお客さんがいて大変だった」となど愚痴をこぼしてみる。もちろん、社会で働くことの厳しさだけでなく、仕事の楽しさも伝えたいものです。

●女の子

女の子は女性として生きるモデルを探している時期。お母さんが女性の先輩として、付き合ってきた人や恋の遍歴、なぜ別れたか、お付き合いのノウハウなど、経験談を話してあげましょう。

まず親が気持ちを切り替える

2 外の師匠にまかせる

子どもは親と少しずつ距離を置き始めていて、何かを言っても反発します。ところが、野球チームの監督、バレエの先生から「勉強しろよ」と言われると素直に聞くものです。こういった「外の師匠」を見つけましょう。

親は口出ししない

3 鍛練させる

勉強やスポーツなど、この時期の子どもは鍛えてもらいたがっています。厳しさに打ち勝つという欲求を持っているので、それを活かしてあげましょう。中学受験や英語検定、漢字検定へのチャレンジがよい機会に。

受験・検定でやる気を出す

4 学習法を身につける

自分の弱点を発見し、それを克服していく時期。ドリルや参考書を買ってそろえるより、ノートの使い方を中心に中学校につながる学習法を身につけさせましょう。適切な方法を指導してくれる塾を探すのもひとつの手。

ノートの取りかたが大切